

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【公表番号】特表2014-528274(P2014-528274A)

【公表日】平成26年10月27日(2014.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2014-059

【出願番号】特願2014-533288(P2014-533288)

【国際特許分類】

A 6 1 F 9/02 (2006.01)

A 4 7 G 9/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 9/02 3 7 0

A 4 7 G 9/10 E

A 6 1 F 9/02 3 1 0

A 6 1 F 9/02 3 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月30日(2014.9.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

装着者が睡眠位置にあるとき、前記装着者の眼球領域から離れた複数の反力を吸収して分散するために、別の負荷経路を可能にするように構成された前面部分を有するデバイスを含む、

ことを特徴とする非侵襲的システム。

【請求項2】

前記前面部分は、前記装着者の顔面周囲にぴったり合うように構成された負荷移動支持構造をさらに含み、前記システムは、前記装着者の顔面上の前記前面部分を固定するため構成され、前記装着者の眼球領域と前記前面部分との間に余裕を生成するようにさらに構成された安定化コンポーネントをさらに含む、

ことを特徴とする請求項1に記載の非侵襲的システム。

【請求項3】

前記前面部分は、第一の前面パッド、第一および第二の側面パッド、額パッドおよび鼻柱パッドをさらに含み、前記第一の前面パッド、前記第一および前記第二の側面パッド、前記額パッドおよび前記鼻柱パッドは、複数の反力を吸収して、負荷を支持するのに特に適した解剖学的構造に分散するように構成される、

ことを特徴とする請求項2に記載の非侵襲的システム。

【請求項4】

前記複数の反力は、前記前面部分および前記第一の前面パッドに対して及ぼされる直接および間接力を含み、前記第一および前記第二の側面パッド、前記額パッド、前記鼻柱パッドは、前記直接および間接力を吸収するようにさらに構成される、

ことを特徴とする請求項3に記載の非侵襲的システム。

【請求項5】

前記睡眠位置はうつぶせ位置である、

ことを特徴とする請求項1に記載の非侵襲的システム。

【請求項 6】

前記余裕は、前記眼球領域をバイパスするために、位置、力の程度、回転および前記第一の前面パッド、前記第一および前記第二の側面パッド、前記額パッドおよび前記鼻柱パッドのへこみを含む群から選択された可変的余裕である、
ことを特徴とする請求項 2 に記載の非侵襲的システム。

【請求項 7】

前記負荷移動支持構造は、さらに半透明部分を含む、
ことを特徴とする請求項 2 に記載の非侵襲的システム。

【請求項 8】

前記半透明部分は、薄く色付けられるか、または適用された処方を有する、
ことを特徴とする請求項 7 に記載の非侵襲的システム。

【請求項 9】

前記負荷移動支持構造は、通気を提供するように構成された前記装着者に接触しない非
パッド部を有する、
ことを特徴とする請求項 2 に記載の非侵襲的システム。